

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(平成29年3月31日時点)

団体名	事業名	事業詳細(事業区分)
皆野・長瀬下水道組合	下水道事業	特定環境保全公共下水道事業

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続	その他の民間活用
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用					
			指定管理者	包括的	PPP/PFI方式	地方独立行政法		
							○	

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

(現行の経営体制・手法を継続する理由)

以前に施設の運転管理業務の民間委託を実施していたが、結果的にコストが高くなってしまった経緯がある。民間委託はその団体の事業規模や近隣市町村との連携次第では有効な手段かもしれないが当組合には適合しなかったと思う。そのため現在では職員直営での運転管理に切り替えておりコストを抑えられた形で現在に至る。

(今後の経営改革の方向性等)

施設の更新などが控えているため、長寿命化計画を策定し効率的な修繕や投資を行う事で将来的にかかる負担をいかに抑えるかというライフサイクルコストの削減を命題として事業に取り組んでいる。また未接続世帯の下水道への接続推進活動に力を入れ、使用料収入の恒常的な増加に取り組んでいきたい。